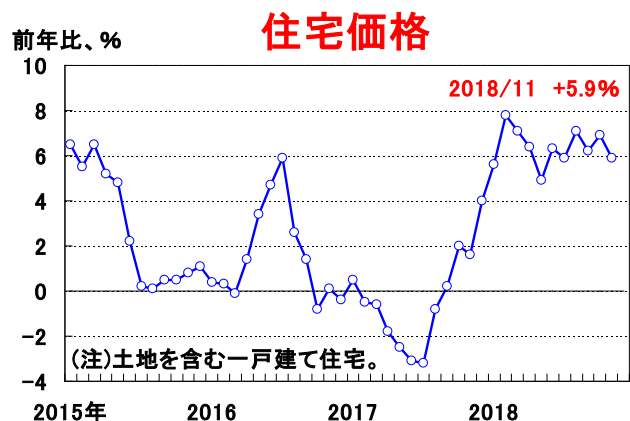
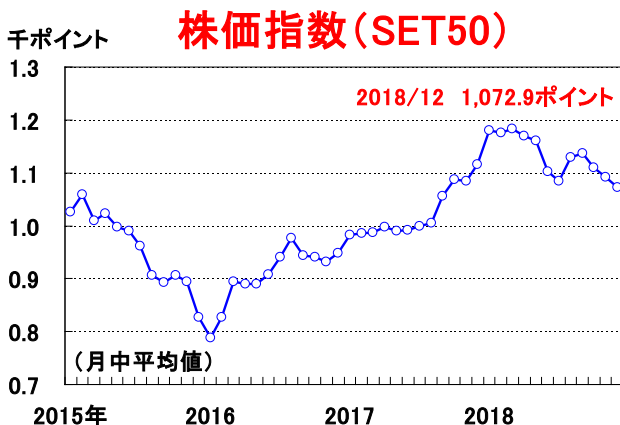
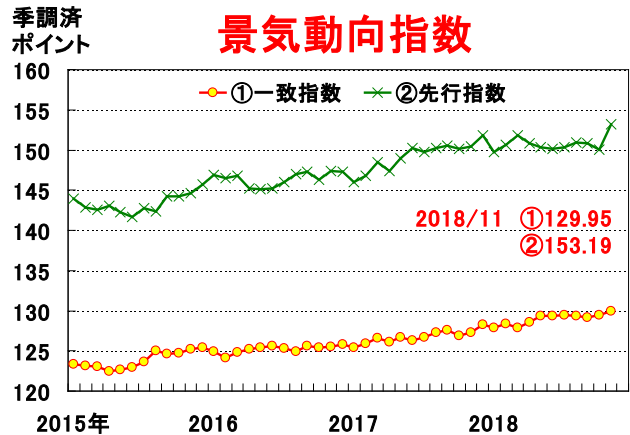
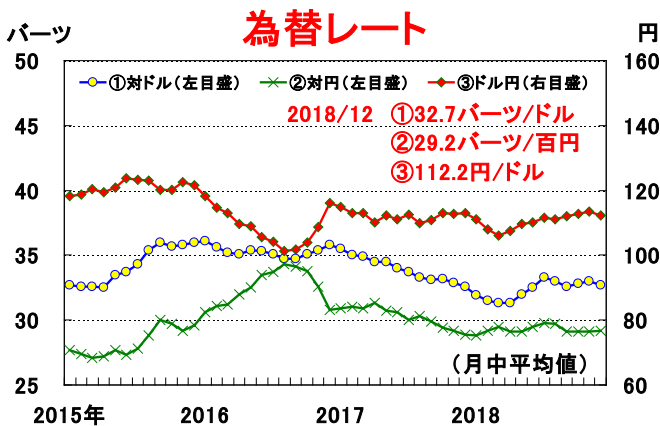
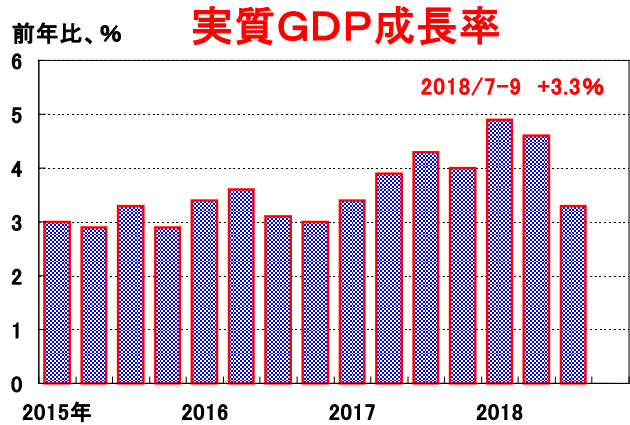
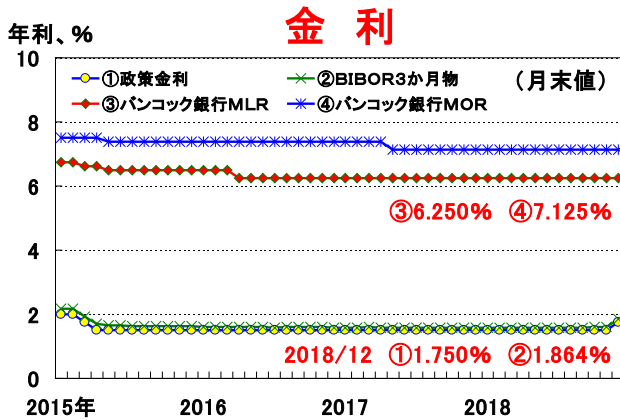


グラフで見るタイ経済 2019年1月号(No. 115)

タイ景気は緩やかに回復している。2018年11月の指標をみると、景気動向指数は、一致指数が129.95と2か月続けて改善したうえ、先行指数も153.19と最高水準を記録した。企業部門では、輸出が前年比-1.0%と中国向けの減少を受けて前年水準割れとなったものの、工業生産指数は前月比+1.5%と2か月連続で大幅に上昇した。民間投資指数も前月比+0.7%と2か月続けて高まっている。次に、家計部門をみると、個人消費指数は前月比-0.5%と統計開始以来の高水準となった前月から下落したものの、底堅く推移している。



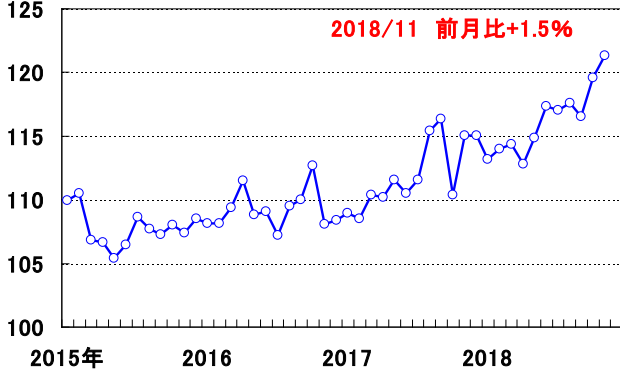
【今月のトピック:タイ中銀が7年4か月ぶりに利上げ】 タイ中央銀行は12月19日に政策金利を0.25%引き上げ、1.75%とした。利上げは、金融緩和の長期化がもたらす弊害を回避するとともに、外部環境の悪化により景気対策が必要とされる局面で利下げの余地を確保することを狙いとしたものである。タイでは、2月に民政復帰のための総選挙が予定されている。今回の利上げは、選挙後に政情が不安定化することによる景気の下ぶれリスクに対し、利下げの「のりしろ」を作る側面もあったとみられる。利上げの直後、中銀総裁は近い将来に追加の利上げをする必要性は小さいとの判断を示している。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

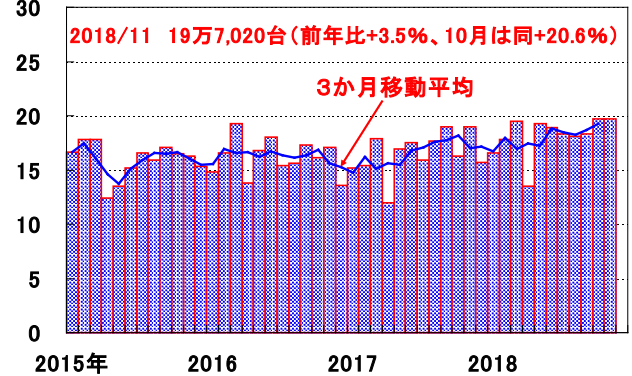
季調済
2011年=100

工業生産指数

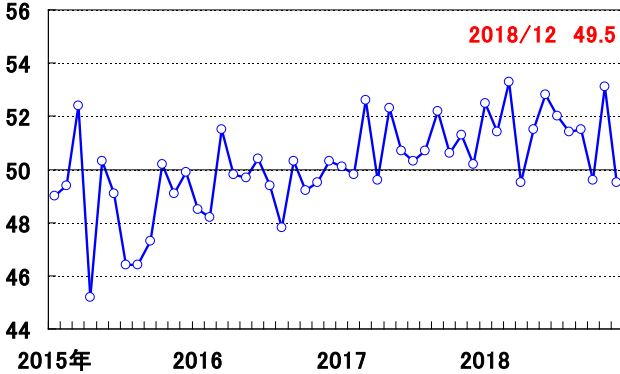


万台

自動車生産台数

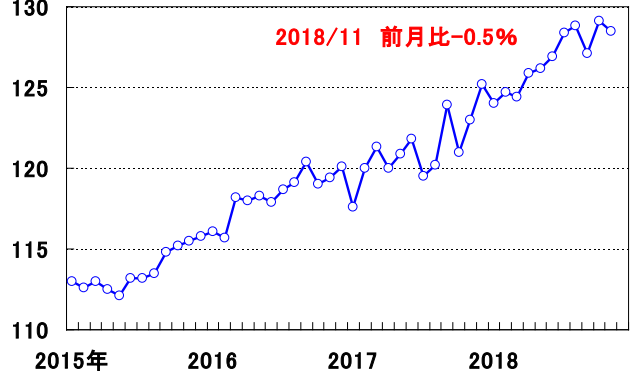


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



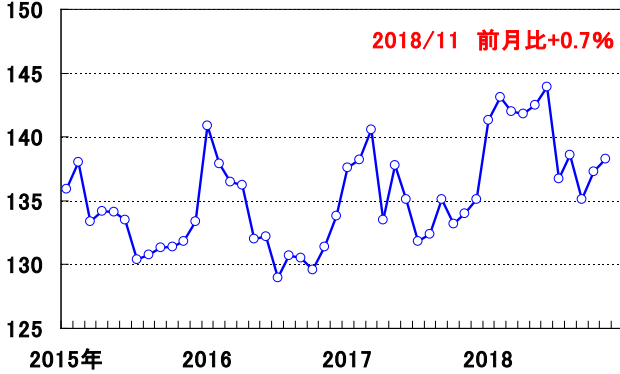
季調済
2000年=100

個人消費指数



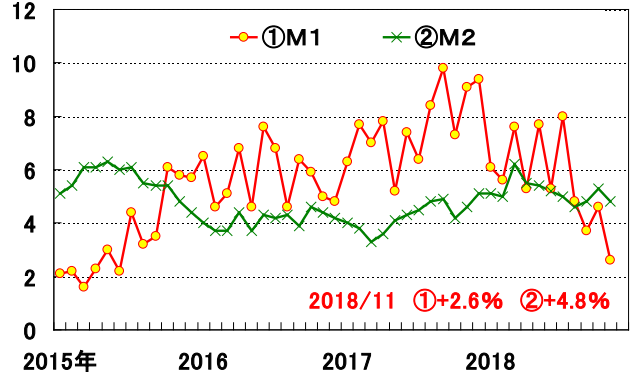
季調済
2010年=100

民間投資指数



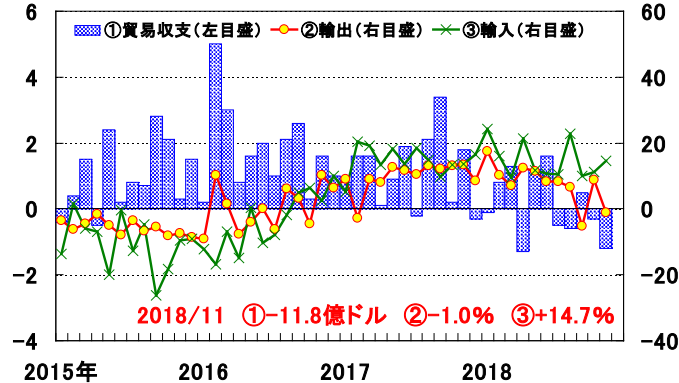
前年比、%

マネーサプライ



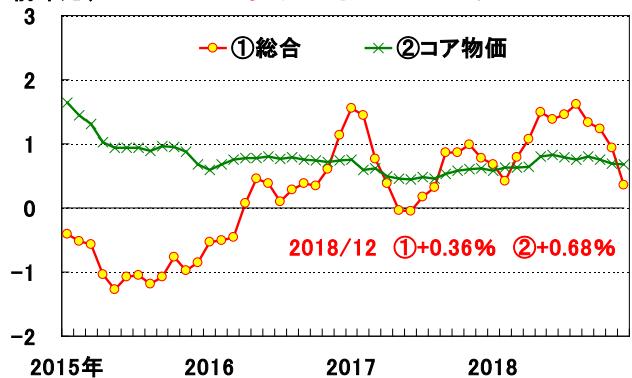
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。